「1文を2文に分けて書く」補充問題①　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、「　　」の中から選び、□の中に書きます。読点（、）や記号がある場合は、字数にふくみます。

一

健康をたもつには、十分なすいみんをとることが欠かせないし、栄養のある食事をすることも必要である。

□。□、□

二

わたしは、以前から、後楽園の周辺にある植物が気になっていたので、後楽園に植えられている樹木について調べることにした。

□。□、□

だから　または　つまり　次に　また

【解答例】

一　欠かせない。また、栄養のある

二　なっていた。だから、後楽園に植

「1文を2文に分けて書く」補充問題②　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、［　　］の中から選び、□の中に書きます。読点（、）や記号がある場合は、字数にふくみます。

一

日本では、くらしのき本である「衣食住」のどれにも、「和」と「洋」が入りまじっており、「衣」には和服と洋服がある。

□。□、□

二

新しく放送委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からず不安そうにしていたので、ぼくは、これまでのけい験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

□。□、□

ところで　むしろ　たとえば　そのうえ　そこで

【解答例】

一　じっている。たとえば、「衣」には

二　にしていた。そこで、ぼくは、こ

「1文を2文に分けて書く」補充問題③　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、［　　］の中から選び、□の中に書きます。読点（、）や記号がある場合は、字数にふくみます。

一

わたしは、きのうの夜、おそくまでテレビを見たり、音楽を聞いたりしていたので、ねむれなくなってしまった。

□。□、□

二

ひさしぶりにレンタルビデオ店に出かけたら、一週間前にへい店していた。

□。□、□

【解答例】

むしろ　だから　さて　要するに　けれども

一　りしていた。だから、ねむれなく

二　に出かけた。けれども、一週間前に

「1文を2文に分けて書く」補充問題④　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、「　　」の中から選び、□の中に書きます。読点（、）や記号がある場合は、字数にふくみます。

一

今度の祝日には、兄は遊園地で遊びたいと言っているが、姉はデパートで買い物をしたいと言っている。

□。□、□

二

図書委員会が行っている読書会では、本のろう読をしたり、読んだ本をしょうかいしあったりしているので、毎回いろいろな本に出会うことができる。

□。□、□

ときには　それでは　そのため　一方　なぜなら

【解答例】

一　言っている。一方、姉はデパート

二　りしている。そのため、毎回いろい

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑤　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、「　　」の中から選び、□の中に書きます。読点（、）や記号がある場合は、字数にふくみます。

一

わたしたちは、身の回りの多くのメディアからたくさんのじょうほうを得ていますが、それらの中には不たしかなものが交じっていることもあります。

□。□、□

二

わたしたちの体の動きと心の動きは、みっせつに関係しているので、悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れる。

□。□、□

さらに　あるいは　さて　けれども　だから

【解答例】

一　得ています。けれども、それらの中

二　係っている。だから、悲しいとき

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑥　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、［　　］から選び、二文目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

一

ぼくは、きのうの夜おそくまでまんがを読んでいたので、朝いつもどおりに起きることができなかった。

二

花子さんは、地図を見てみたが、目的地までの行き方は分からなかった。

【解答例】

一

ぼくは、きのうの夜おそくまでまんがを読んでいた。それで、ぼくは、朝いつもどおりに起きることができなかった。

二

花子さんは、地図を見てみた。だが、花子さんは、目的地までの行き方は分からなかった。

だが　それで　そして　つまり　次に

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑦　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、［　　］から選び、二文目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

一

太郎は、図書館でいろいろな日本の民話を読んでいたけれど、外国の民話を読んだことはなかった。

二

ぼくの両親は、チョウ集めのりっぱな道具なんかくれなかったから、集めたチョウを古いボール紙の箱にしまっておかなければならなかった。

【解答例】

一

太郎は、図書館でいろいろな日本の民話を読んでいた。しかし、太郎は、外国の民話を読んだことはなかった。

二

ぼくの両親は、チョウ集めのりっぱな道具なんかくれなかった。だから、ぼくは、集めたチョウを古いボール紙の箱にしまっておかなければならなかった。

［しかし　あるいは　さて　たとえば　だから］

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑧　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、［　　］から選び、二文目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

一

おとといの早朝、近所の山にかみなりが落ちたので、おどろいて目を覚ました。

二

わたしは、国語のプリントを家にわすれてしまったと思ったが、かばんの中に入っていた。

［　　］

また　　むしろ　　それで　　要するに　　けれども

【解答例】

一

おとといの早朝、近所の山にかみなりが落ちた。それで、わたし（ぼく）は、おどろいて目を覚ました。

二

わたしは、国語のプリントを家にわすれてしまったと思った。けれども、国語のプリントは、かばんの中に入っていた。

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑨　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、［　　］から選び、二文目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

一

わたしは、食事のときにテレビを消しているか友達に聞いてみると、テレビを消して食事すると答えた。

二

松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、白いぼうしが飛ばないように、石でつばをおさえた。

【解答例】

一

わたしは、食事のときにテレビを消しているか友達に聞いてみた。すると、友達は、テレビを消して食事すると答えた。

二

松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせた。さらに、松井さんは、白いぼうしが飛ばないように、石でつばをおさえた。

［　　］

ときには　さらに　さて　けれど　すると

「1文を2文に分けて書く」補充問題⑩　名前（　　）

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、［　　］から選び、二文目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

一

ぼくは、新しく買ったテレビの説明書を何度も読んだが、そう作の仕方はわからなかった。

二

夜道は、見通しが悪くて大変きけんなので、自転車のライトを必ずつけるようにしている。

【解答例】

一

ぼくは、新しく買ったテレビの説明書を何度も読んだ。ところが、ぼくは、そう作の仕方はわからなかった。

二

夜道は、見通しが悪くて大変きけんだ。だから、わたし（ぼく）は、自転車のライトを必ずつけるようにしている。

ところで　だから　たとえば　そのうえ　ところが